



2023年7月21日
株式会社イクシス

「GENBA-Remote」が国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」へ登録

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 Co-CEO：山崎文敬、狩野高志）は、2023年7月19日付で、当社の遠隔臨場サービス「GENBA-Remote」（以下、「本サービス」という）が国土交通省の新技术情報提供サービス「NETIS（New Technology Information System）」に登録されたことをお知らせします。

■ NETIS とは

国土交通省が新技术の活用のため、新技术に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムです。NETIS 登録技術は、工事の効率化を進めるために政府が利用を推進しているもので、公共工事の施工者が登録された新技术の活用を提案し実際に工事で活用された場合には、効果に応じて工事成績評定の加点の対象となります。

【NETIS 登録情報】

- ・ NETIS 番号：KT-230078-A
- ・ 新技术名称：遠隔臨場システム「GENBA-Remote」
- ・ 登録日：2023年7月19日（水）
- ・ NETIS 内 遠隔臨場システム「GENBA-Remote」登録ページ：
<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230078%20>

■ 本サービスで解決する課題：

急激に進む少子高齢化により、日本のインフラを支える建設業界は深刻な「人材不足」という課題を抱えています。臨場にかかる時間が負担となっている事業所は多く、遠隔臨場「GENBA-Remote」はその課題を解決する有力なソリューションです。

■ 本サービスの概要

遠隔臨場システムとは、公共工事の建設現場における「段階確認」「材料確認」「立会」を遠隔で実施可能とするものです。工事発注者側（監督員）には現場臨場の削減により、効率的な時間活用ができるという利点があります。また、工事受注側においては、段階確認に伴う手待ち時間を削減し、確認書類を簡素化できるメリットがあります。イクシスの「GENBA Remote」は長年のロボット製作の知見・ノウハウを活かし、実現場で実際につかえる「低遅延」を実現しており、また遠隔臨場に必要な最適な機材構成をすべてワンストップで提供しています。



■ 本サービスの特徴

- ・国土交通省の指針に準拠
建設現場の遠隔臨場に関する試行要領に記載のスペックをすべて網羅しています。
- ・まるっと提供・レンタル
遠隔臨場に必要な機器・ソフトウェア・回線をワンストップですべて提供・貸し出します。
監督側の回線、カメラの変更などのカスタマイズにも柔軟に対応しています。
- ・厳しい環境でも使用可能
骨電動ヘッドセットで耳をふさがずに現場側の音声をクリアに配信できます。「監督側の音声」と「周囲の音声」を同時に聞くことができ、危険予知や周囲との会話をしながらの臨場作業が可能となっています。
- ・高いクオリティ
Full HD 映像（音声付き）30fps を「タイムラグほぼ無し」+「高画質」で滞りなく双方向通信可能です。滞りなく検査が遂行でき大変好評です。
- ・高い導入実績
全国で 200 社以上、約 1,000 現場での導入実績を誇ります。
- ・豊富なオプション
調査チェックアプリ、現場側子機、オートレベルアタッチメント、手振れ防止ジンバル、電子黒板（2023 年 8 月予定）など多数のオプションを揃えています。

本サービスの紹介特設サイト <https://www.ixs.co.jp/genba-remote/>

■ 株式会社イクシスの概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボットを利用したデータ取得・AI 解析・3次元データ連携等、インフラ関連業界における DX を支援、そして社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998 年 6 月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 AIRBIC 内
代表者	Co-CEO 兼 CTO 山崎 文敬、 Co-CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3D データソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/



以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イクシス

神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 かわさき新産業創造センター（AIRBIC）内

Business Development Division

電話：044-589-1500、メールアドレス：press@ixs.co.jp